

補 正

～新たな取り組み～

主なものを取り上げ、概要についてお知らせします。

ガス分離設備等の設置

1728万円

平成20年の温泉法一部改正に伴い、可燃性天然ガス測定を実施した結果、白男川紫陽館及び観音滝公園が基準値を超えたことから、安全対策としてガス分離設備等の設置が必要となりました。



きらら温泉白男川紫陽館

本庁舎耐震診断業務

341万円

本庁舎は昭和31年に南側旧館、昭和44年に北側新館が建設されています。現在老朽化及び県北部地震の影響を受け内外の壁面の随所に亀裂が見受けられます。緊急時の防災拠点施設としての使用と新庁舎建設検討において専門機関の診断を踏まえ、具体的な数値による現状把握の必要があるため診断が行われます。



役場本庁舎

私立保育所改修助成事業補助

9370万円

国の平成20年度第2次補正で県に「安心こども基金」が設立され、保育所の耐震整備も補助対象となったことから、今回旭保育園がこれを活用し改築されようとするものです。園では、耐震予備調査の時点で危険であると判定され改築の必要があったところに、国の財政措置も講じられ、今回事業を計画されたこのことです。

問 (主な質疑) 他の保育所施設の状況等は。
答 町内には旧耐震基準で建設された保育所が5つあり、中には耐震調査が済んでいない施設もある。今回の事業は町の義務負担もあることから、今後を考えると町として「こども育成基金」も含め対応を研究していかねければならないと考えます。

中学校の吹奏楽備品購入

624万円

宮之城中学校・鶴田中学校・薩摩中学校の吹奏楽備品が購入されます。

(主な質疑)

問 吹奏楽備品購入の計画的な更新は。

答 毎年要望はあるが予算の関係で更新できずにいた。今回電源立地地域対策交付金を充当し、最低限必要なものを学校から希望を取り予算計上しました。

旧町民センターつるだ荘・旧鶴田母子健康センター解体工事

4450万円

老朽化と豪雨被害により廃止された旧町民センターつるだ荘及び旧鶴田母子健康センターは、豪雨災害時の公有建物災害共済金の支払いがあり、これを財源に解体工事が行われます。

解体した後の法面については、24メートルの擁壁工事が行われ、道路路肩部分については、転落防止のためのガードレールの設置が予定されています。



旧町民センターつるだ荘